

人生を耕させて  
たらう道みち  
それがお念佛ねんぶつ  
とういよしお  
東井義雄

No.104

2018(平成30)年

3月1日

発行

## 浄土真宗本願寺派

日区教教山

## 責任者



正信偈のおつとめ(勸式指導)を受けました(日高組総代会後期研修会)

ヒダカくん・ひかりちゃんの

## 『御文章』のお話

その八  
永原智行

蓮如さんが五十七歳になった頃、幕府や朝廷、比叡山の影響の離れた土地に来たんだ。それが吉崎だよ。この土地は、比叡山と対立する興福寺（こうふくじ、大乗院、奈良）の門跡（もんぜき）の土地だつたんだ。この門跡と蓮如さんが親戚だつたためといわれてるんだよ。この地でお寺を中心とした町を造つたんだ。お城のあるところは城下町、街道の町は宿場町、というよう、町が発達する中で、お寺を中心とした町を造つたんだ。本願寺を中心に、参拝者のための宿屋、みやげ物屋、それに本願寺を維持するための花屋や油屋やお香

ひかりちゃん 町を造ったの、すごいわね。  
ヒダカ この吉崎という町は、京都や滋賀から逃げて  
きてたまたまそこに居着いたというのではないようなん  
だ。十分に検討して、行くところを考えたようだね。越  
前（福井県）と加賀（石川県）の国境にあるんだ。  
ということは、それぞれの領主が、それぞれの領地で  
戦争してたので、国境まで領主の支配が受けにくかった  
んだ。そのうえ、半島の台地の上にあつたから、天然の

ひかりちゃん  
ヒダカ この吉崎という町は、京都や滋賀から逃げてたまたまそこに居着いたというのではないようなんだ。十分に検討して、行くところを考えたようだね。越前（福井県）と加賀（石川県）の国境にあるんだ。  
ということは、それぞれの領主が、それぞれの領地で戦争してたので、国境まで領主の支配が受けにくかつたんだ。そのうえ、半島の台地の上にあつたから、天然の要塞（ようさい）というわけなんだ。

ひかり 战国時代ということね。

ヒダカ 一番忘れてはいけないのは、越前であろうが加賀であろうが、支配する人にとって国境はあつたとしても、支配されている人にとって国境なんてなかつたんぢゃ。川で仕切られていても、住民は勝手に自由に行き来

ヒダ力 一番忘れてはいけないのは、越前であろうが  
加賀であろうが、支配する人にとって国境はあつたとし  
ても、支配されている人にとって国境なんてなかつたん  
だ。川で仕切られていても、住民は勝手に自由に行き来  
をしていたし、彼らは蓮如さんが来てからは、(親鸞聖  
人も越後に流されていて、このあたりは浄土真宗の  
不毛地帯ではあります) 信仰で連帯し、結ばれていたん  
だよ。この連帯のことを特に「講」(こう)というん

「講」って、お講のこと？  
そうだよ。仲間でご飯を食べ、仲間でおつと  
めする。仲間でお寺を維持する形態を「講」というよ。  
これも蓮如さんの考えられたことが、今まで  
伝わっていることの一つね。

# ビハーラ活動

本願寺ビハーラ医療福祉会  
西本願寺あそか診療所院長  
川上 明

皆様、はじめまして。この紙面でお会いするのには初めてではないでしょうか。京都の西本願寺にある、あそか診療所の川上明といいます。私は京都生まれの京都育ちですが祖父がこの和歌山の地で生まれ育ち、我が家は教専寺の門徒であります。そのような環境の中、縁あって昨年6月より本山の診療所にて仕事をさせていただいております。

西本願寺が最近力を入れ始めたのが「ビハーラ活動」という「生・老・病・死」という苦しみや悲しみを抱えた人々に対して全人的に支援するという活動です。すなわち仏教が従来のイメージである亡くなつた人々に対するものではなく、苦悩を持つた人々に対する活動に、本格的に参入するようになつたと考へていただけ良いかと思います。日本人の二人に一人が「がん」という病気に悩まされている現在、がんになつた人々や病気の進行のため、治癒が困難になつた人々のケアをすることに力を入れました。いわゆるホスピスの仏教的緩和ケアと思えばわかりやすいと思います。

「ビハーラ」という言葉は古代インドのサンスクリット語のViharaをそのまま音訳したものであり、「精舎・僧院」、「心身の安らぎ」、「休憩の場所」との意味合いを持つた言葉です。「精舎・僧院」とは寺院のことであり、お寺は「心身の安らぎの場所」を意味していたのです。そして「ビハーラ活動」とは、仏教・医療・福祉のチームワークによつて支援を求めている人々を置き去りにしないように、その心の不安に共感し、少しでも苦悩を和らげようとする活動です。私たち自身が、苦しみや悲しみを縁として、自らの人生の意味を振り返り、死を超えた心のつながりを育んでいくことを願いとしております。

西本願寺では、平成20年に京都南部の城陽市に仏教系緩和ケア病棟を立ち上げ、現在ガンの末期の人々のケアを行っています。

また最近の考え方では、緩和ケアというのは「生命を脅かす病に直面している患者と家族の痛み、その他の身体的、心理的、スピリチュアルな問題を早期に同定し、適切に評価することを通して、苦痛を予防し緩和することにより、患者と家族のQuality of Life(クオリティー・オブ・ライフ)を改善する取り組みである。」としています。その点を踏まえ、城陽のあそかビハーラ病院では終末期の患者さん、あそか診療所では現在治療中の方々への苦痛緩和を中心に診療体制をとり、互いに連携を取りながら診療を行っています。

特にあそかビハーラ病院では院内にビハーラ僧が常駐しており医療者とともにチームを組んで患者さんの苦痛に対応しています。生きる意味を失い、自分に価値をおけなくなつた人、生きることの無意味、空虚、孤独、疎外感などを感じている人の、いわゆるスピリチュアルペインのケアに従事しています。現在人は、「死」というものが遠くになり、深く考えることなく生活しているため、いざそのことに直面するとどうしてよいかがわからなくなってしまうのです。日頃からお寺に出入りし、生老病死について考える機会をもらうことが、意味のある人生、穏やかな人生を過ごす糧になるのではないかでしょうか。



あそかビハーラ病院（城陽市）

**ビハーラの原意と歴史**

「ビハーラ」(Vihara)とは、古代インドにおいて仏教経典の記録などに使用されたサンスクリット語で、「精舎・僧院」「身心の安らぎ・くつろぎ」「休息の場所」を原意とします。一九八五(昭和六十)年に、田宮仁氏は、そのビハーラという言葉を仏教を背景としたターミナルケア(終末期医療)施設の呼称として提唱されました。その背景には、誰もが抱える「生・老・病・死」の苦悩について、医療や福祉だけでなく、仏教徒が一緒にになり、責任をもつて応えていきたいという願いがあります。

釈尊は「修行僧らよ。われに仕えようと思う者は、病者を看護せよ」と説かれています。ふりかえてみると、釈尊の時代から日本の淨土教に至るまで、仏教徒が病人をあたたかく看取り、看取りを縁として、自己自身の人生を見つめ直し、皆ともに助けあつて、死を超えたまことの仏法を求めました。

源信和尚の『往生要集』に説かれる臨終行儀や親鸞聖人は、「一切の有情はみなもつて世々生きとし生けるものすべてのものとの一体感がないのちの共感を生み、人々の悲しみ、痛みに共感する大悲の心に転じていくこと」でしよう。

(浄土真宗本願寺派社会部HPより引用)

## ビハーラ僧の活動

あそかビハーラ病院ではビハーラ僧(常駐僧侶)が常駐しています。

ビハーラ僧の院内の活動の役割は、主にスピリチュアルな痛みに対するケアを担っています。

スピリチュアルな痛みとは、「なぜ自分が病気になったんだろうか」「何のために今まで生きてきたんだろうか」「死ぬのが怖い」「死んだらどうなるのか」「きっと自分は死んでも救われない」などの、病気によって生じる人間存在の危機から生じる苦悩を意味しています。

ビハーラ僧はそのようなお気持ちを聴かせていただき、「いのち」を見つめなおすお手伝いをされています。

## 除夜の鐘

北山 憲昭

お寺にはいろいろな打物（鳴り物）がありますが、どのようなものが思い浮かんできますか。

では、お寺の鐘といえば、梵鐘（ぼんしょう）・喚鐘（かんしょう）・磬（けい）・鑿（きん）・沙羅（さわり）などがあります。他の打物では大太鼓（おおだいこ）・木版（もくはん）・雲版（うんばん）・節板（せつぱん）・経太鼓（きょうだいこ）・鎧（よろい）・鉄（はち）などがあります。

名前を覚えるだけでひと苦労ですね。これらは、法要や儀式を行う際に、行事の開催や開始を知らせたり、僧侶の入堂を促したり、また、法要・儀式中に用いたりするものです。

今回はわけあって梵鐘について書きますのでお付き合いください。各寺の梵鐘には様々な歴史があると思います。光専寺の梵鐘もかの戦争での供出により一時は存在がなくなりました。しかし、昭和22年、当時の門信徒様のお力で再び鐘楼に据えられました。深く理解できないのですが鐘楼は梵鐘があることでバランスを保つ構造になっています。石やコンクリートの代わりの梵鐘を吊り崩壊しないようにしていました。行事が始まることを知らせる集会鐘（しゆうえい）によると、1時間前（または30分前）に、「行事が始まります、集まりましょう」と撞きます。ゆっくりと8打、終わりに2打を続けます。大きな法要、大切なお参りの際に撞かれるものです。他にも、昔からその土地の方へ朝あります。役割として撞かれているところもあります。

お寺にはいろいろな打物（鳴り物）がありますが、どのようなものが思い浮かんできますか。

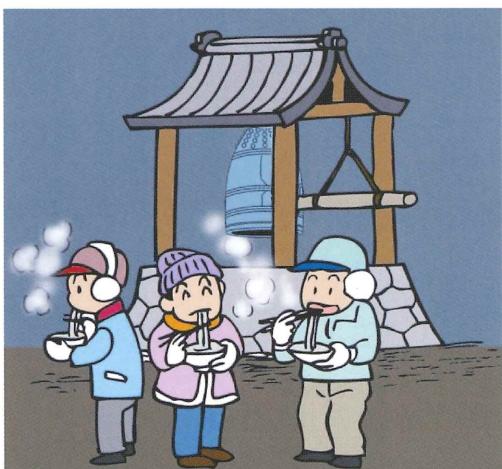
毎日続けていくことは大変なことだと話してくれた住職さんがいました。それでも、近所の子ども達がお手伝いに来てくれ助けてくれ嬉しいですよ、とも。

それから、除夜会（じよやえ）には除夜の鐘として、年の暮れから新年にかけて一〇八回撞きますね。皆様もいろいろな想いをもつて参加されることでしょう。残念ながら、光専寺では今回除夜の鐘を撞くことができませんでした。昨年1月、当寺鐘楼が倒壊したことは以前お知らせしました。門信徒の皆様で話し合いをしていただき、喜ばしいことにこれまでと同じ姿で再建されることになりました。今年中には在りし日の姿を現し、心落ち着く音色を響かせてくれることと願っています。

私は、毎年除夜の鐘を撞いておりますが、欲消すことができると言ったことがあります。私、毎年除夜の鐘を撞けば煩悩を打ちこどもの頃、除夜の鐘を撞けば煩悩を打ち消すことができると言ったことがあります。私の心・怒りの心・うらやみ、ねたみの心が消えておりません。お釈迦さまは、人生の苦を四苦八苦とお説きになりました。

一〇八回とは「とても多い」という意味

です。  
尽蔵（ことら）」に出てゐる  
なるほど。心から「無  
しきはつく？ 四×九＝36？ 八×九＝72？



### 阿弥陀仏はいつ救いに来られるでしょう？

次の①～③の中から一つ選んで番号を書いてください。

- ① 念仏を称えるたびに来られる
- ② 臨終のときに来られる
- ③ 今、来られている

103号の正解は、「2 仏となって、日夜、私たちを救おうとしている」でした。

〔解説〕阿弥陀仏の救いを信じて亡くなった方は、時を隔てず浄土に生まれ、阿弥陀仏と同じ仏になられているのです。仏になられたのですから、当然、迷い続ける私たちを救うために、はたらき始められるのです。

正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

由良町 中崎エミコ 様  
日高町 濱 孝治 様  
御坊市 塩田 廣一 様  
由良町 石橋美智子様

由良町 岩崎 信子 様  
由良町 松下 光男 様  
由良町 中口小夜美 様

### 法悦クイズ

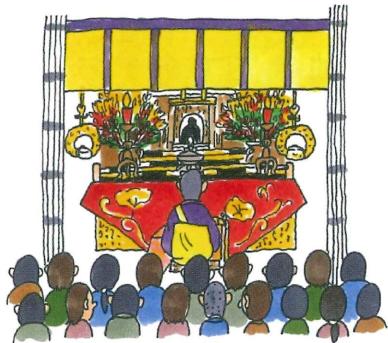
ホームページ、またはハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、紙面についてのご感想、ご意見等を明記の上、下記までお送り下さい。

〒649-1221

和歌山県日高郡日高町志賀2988番地  
妙願寺内 日高組事務所 宛

☆抽選で10名の方に粗品を進呈します。

締切 平成30年5月20日(必着)  
発表は次号です



**和歌山教区  
鶯森別院で  
子どもの報恩講  
キッズサンガ**

5面で特集



(鈴木)

## 日高組真宗法座の様子

8面日高組通信に関連記事掲載



ます。が、鑿はおつとめの際に決まつたところで打つといふ作法がありますので、むやみにたくことは避けましよ。神社で鳴らす鈴とは違いますよ。



年忌法要(年回忌法要)は、亡くなつた方を偲び敬うとともに、ご家族や親類が集い、ともに仏法に心をよせ、仏縁を結ぶ大切な法要です。

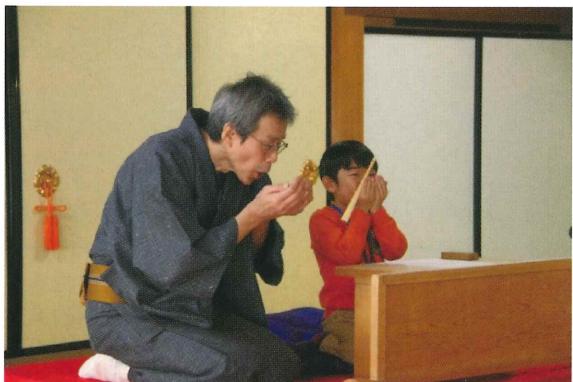
ともすれば、お経を拝読しお念佛を称え、死者の魂を慰める法要だと考えている方がおられます。が、そうではありません。淨土真宗のみ教えを聞信した人は、阿弥陀さまのお救いのうちにあり、ご往生が約束された身となります。亡き人は、私たちに向て「仏縁を与える」手を合わせる人になつて欲しい、「阿弥陀さまの救いを信じ、お念佛申す身となつてほしい」と私たちに働きかけて下さいます。亡き人を偲び、往生は間違いないということをお互いに知らされる場として年忌法要があり、これをご縁としてお勤めするのです。さて、法事の際には、久しぶりにお目にかかる方々とつい近況を報告しあつて、仏さまをないがしろにしていませんか?

まずは、仏さまにご挨拶を申し上げましょ。称名念佛(なもあみだぶつと声に出して称える)して、仏恩報謝をしましよう。その時には、鑿(きん)を打つてしまいま

## 門徒心得



◎おつとめの練習  
「らいはいのうた」 →  
はじめておつとめする児童も戸惑いながらも上手に読みました。



◎おつとめ・3つのやくそく  
→  
合掌礼拝の作法はむづかしくないよ、ほら私も簡単にできたよ！



◎射的ゲーム  
←  
的に向けて  
しっかりねらいを  
さだめるんだよ  
担当(少年・寺婦)

教区少年連盟主催の子ども報恩講（子どものつどい）が、12月9日鷺森別院本堂で開催され、教区内の児童や寺院関係者ら三〇二名が参加しました。  
29回目を迎えた今回は、定番のゲームの他、「紀（しるす）の会」による落語と、子どもの落語体験など新たな内容も盛り込まれ、大賑わいとなりました。  
日高組からも多数の参加があり、藤本組長、森下組仏壮大会長ら組実践運動委員も参画して子どもたちの対応に追われました。堂内では寒さを忘れ、終始子どもたちの笑顔と笑い声が絶えない一日となりました。  
また当日は「子ども作品展」の表彰式も行われました。20回目を迎えた今回は、1人でも多くの子どもたちに応募してほしいと、書道、絵画に加え、新たに塗り絵も募集し、教区内の児童から書道90点、絵画4点、ぬりえ16点の合計110点の応募がありました。



◎釣りゲーム  
←  
なかなか釣れないな  
ボク釣れたよ  
やったー！  
担当(佛教婦人会)



◎昼食 →  
お昼ごはんは寺族婦人会で  
作ったカレーライスでした。  
どんどんおかわりしてね。



◎缶バッジづくり ←  
顔写真を缶バッジにしますよ  
うわーすごい！  
森下会長の手慣れた手つき  
がイイ！ 担当(佛教壯年会)

## 子どものつどいが開催される

## 第二五五回

### 門徒推進員中央教修に参加して

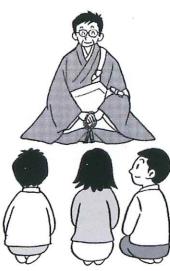
即生寺門徒総代  
川崎英直

「ピピピピピ」「ジジジジジ」

と、携帯電話やスマートホンのアラーム音が快適な睡眠の終わりを告げている。「おはようございます」「おはよう」と昨日初対面の即席知人と挨拶が交わされる。ここは、本願寺聞法会館の宿泊部屋の一室で、午前6時からの晨朝参拝のお勤めのため、5時起床をする。これは、門徒推進員中央教修のスケジュールの一場面です。

この門徒推進員中央教修（第255回）は、平成29年9月1から4日までの4日間に参加するには、各組で行われる門徒推進員養成連続研修会（以下「連研」とします。）を修了する必要があります。私は第9期連研（平成26年12月から平成28年12月まで）を受講したのですが、受講のきっかけは連研開講式を組の一般的な研修会の開催と思い込み出席したのが始まりで、内容を理解しないまま受講生の1人となり、2カ月に1回の開催で計12回の研修（数回の欠席あり）を受けることとなりました。

私自身、門徒総代の経験年数は長いのですが、一番年少（？）のため先輩総代に従うだけで住職には申し訳ないのですが、総代としての自覚は欠如していました。年数回の法要では、布教使の説教はいつも右耳から入り左耳に超特急で駆け抜けてしましました。しかし、連研に参加して、「話し合い法座」での毎回行われる問題提起に、自分の考え方を発言することで、浄土真宗のみ教えに少しでも近づかなければならぬと思う気持ちを持つことができました。



連研を無事修了し、昨年の春頃住職から本願寺で開催される中央教修への参加を促され、私のような浅い考え方の者が参加して良いか悩みましたが、全国から集まる門徒と語り合うことが楽しみであり、また3泊することから京都の居酒屋での酒宴もできると考え、参加を決意しました。

ところが、初日の開講式（オリエンテーション）日程が発表され、6時から21時までお勤め、法座等でみつかり教修があり、外出禁止令が出され、もちろん教修中は禁酒である旨の指示もあり、安易に参加をしました。ことに後悔しました。

しかし、各法座で「問題提起」されたことを「班別で話し合い」する内容は、延長のよう連研で行つたことで、特別違和感がなったことは幸いででした。

受講生は、北は山形から

南は鹿児島（種子島）まで

女性41人（男性31人、

女性10人）を7班編成



として、意見交換の後、班別の発表会、各種講義など、とにかく時間に追われる内容でしたが、有意義に過ごすことができました。

受講生の年齢層は、40歳後半から70歳後半で、平均65歳前後で会社勤め等を終えた方が多く、私の班（6人）では、進行役の事務局員のおかげで班員各自の発な意見が交わされ、中でも朽木から参加された77歳活の方の仲人話など貴重な経験談は、非常に興味深く、大変勉強になりました。

教修の最大の山場は、3日目の夕食後に行われた、「決意表明式」で、和蠟燭の光の中で、各自が門徒推進員としての決意を阿弥陀さまの前で書き物を見ずに表明する儀式は、幻想的で緊張も最高潮に達し、表

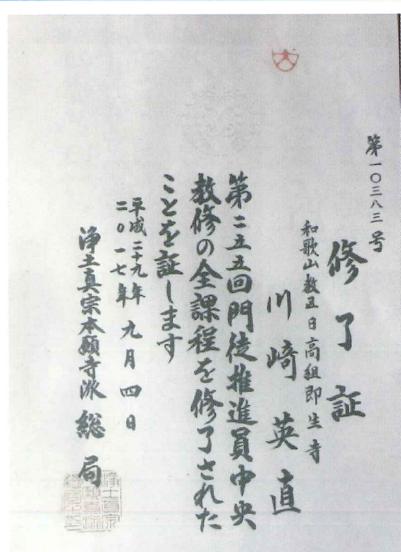
・明の後の物事をやり終えたと感じたことからくる達成感大変勉強になりました。

第三立正門徒推進員中央教修の全課程を修了されたことを証します

川崎英直

和歌山教区高級即生寺

二〇一七年九月四日



川崎門徒推進員さん、今後益々のご活躍を期待します。

なお、和歌山教区からの参加は、私1人で複数人が参加している他教区（寺）を最初は羨ましく思いましたが、その分、多くの方と話ができる利点がありました。

教修最後の懇親会では各自、受講の感想を発言し、第255回参加者の同窓会を開催して、再会を確認しました。

自分自身、中央教修に参加して、更に決意表明したことで、今まで以上に気持ちを引き締めなければならぬと思うようになりました。

4日間を京都で過ごすという日程調整もありますが、多くの方が組連研を受講して、今後、一人でも多くの門徒推進員が誕生することを期待しています。

南無阿弥陀仏・・・・・

#### 追記

今年4月7～8日（土・日）の即生寺永代法要に、中央教修で講師として、解かりやすくユーモアをまじえて「浄土」の話をして頂いた「富山県高岡市の善證寺・城野住職」において頂き、説教をいたぐことになっています。肩のこらない説教をしていただけるものと期待しています。

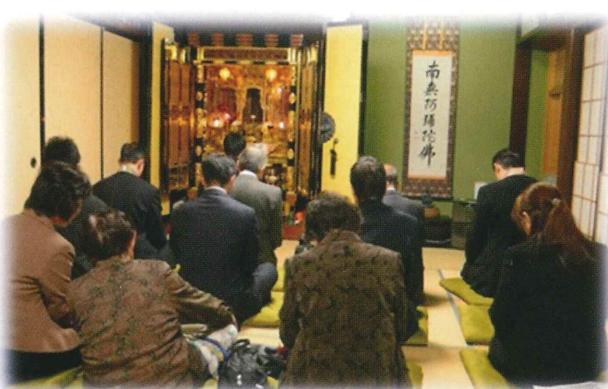
皆さん是非お参りをいただきますようお願い致します。

# 報恩講をご縁に



鷺森別院報恩講(内陣出勤法中はお揃いの色衣を着用します)

各地におけるお念佛の中心道場として別院が全国に設置されており、通常、本山の報恩講に先立ち、秋から冬頃にかけて「報恩講」をお勤めしています。



家庭での報恩講(家族みんなでお参りしましょう)

浄土真宗の家庭では最も大切な法要です。子どもからお年寄りまで、家族や親戚と一緒にお勤めし、親鸞聖人のみ教えを聞いて、ともに仏縁をいただいたことを喜ぶ機会といたしましょう。(ろうそくは朱色を!)



本願寺御正忌報恩講(堂内はご満堂になります)

本山本願寺においては、親鸞聖人の祥月命日(1月16日)にお勤めすることから「御正忌報恩講」といい、毎年1月9日から16日までお勤めされます。

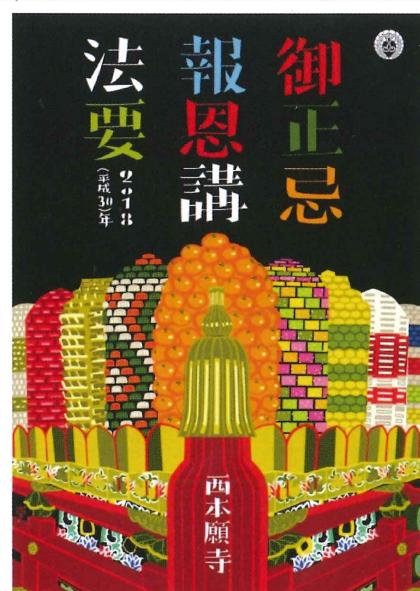
この期間は全国のご門徒が参拝され、大変な賑わいです。また、15日は布教使が交代で夜通し法話をする「通夜布教」が聞法会館で行われています。

寺院の報恩講(布教使による法話があります)  
全国の各寺院で一年に一度お勤めされます。  
本山の報恩講と同じ期日にお勤めする寺院では「御正忌報恩講」、本山の報恩講に先立ち秋から冬頃にお勤めする寺院では「お引き上げ」や「お取り越し」と呼ぶことが多いようです。

また、地域によっては「ほんこさん」と呼ばれ親しまれています。

「報恩講」は浄土真宗のみ教えをいただく私たちにとって、宗祖・親鸞聖人のご遺徳を偲ぶ、一年でもつとも大切なご法要です。私たる淨土真宗は、「阿弥陀さまのあらゆる人びとを救うはたらきによつて信心をめぐまれ、お念佛を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき淨土に生まれて仏となり、迷いの世に還つて人びとを教化する」というみ教えです。この真実のみ教えをお示しくだつた親鸞聖人に感謝し、阿弥陀さまのお救いをあらためて心に深く味わわせていただくご法要が、「報恩講」です。

「報恩講」という名称は、親鸞聖人のひ孫である本願寺第3代覚如上人が、聖人の33回忌にあわせて『報恩講私記』を著されたことに由来しています。以来、七百年を超える歴史の中で、先人たちが親鸞聖人ご命日の法要を「御正忌報恩講」として脈々と受け継ぎ、今日まで大切に勤めしてきました。



ぜひ、ご本山やお寺へご家族や有縁の皆さまといつしょにお参りし、ご家庭でも「報恩講」をお勤めいたしましょう。そして親鸞聖人のご遺徳を偲び、阿弥陀さまのおはたらきに感謝して、浄土真宗との出遇いを深めてまいりましょう。

# 日高組通信

## ☆行事報告

### ◎第23回日高組真宗法座

日高組主催の第23回真宗法座が12月10日、日高町志賀の即生寺で開催され、門徒、寺院関係者50名が集まり、熱心に聴聞しました。

この法座は日高組の御同朋の社会をめざす運動（実践運動）の重点項目でもあり、毎年この時期に開催されています。法座には、滋賀教区から本願寺派布教使の鈴木善隆師が登壇され、「摄取不捨の真言」の講題で阿弥陀如来のご本願のいわれを説かれ、時折「せり弁説法」（能登地方の伝統的な節まわし）を交えてお取り次ぎをしていただきました。（4面参照）

研修会が1月23日日高町志賀善宗寺で開催され、季刊「せいてん」を教材に研修を受けました。

## ☆行事予定



◎寺族婦人会 報恩講、総会が3月1日、日高町志賀即生寺で開催予定。

◎29年度日高組定期組会 3月31日（土）午後2時から日高町志賀即生寺で開催。組会議員により29年度事業報告、決算報告、30年度事業計画、予算案等の審議が行なわれます。また当日は教区教務所長と参考事が訪問し、教区費の値上げなどについての説明がなされる予定です。

◎29年度日高組定期組会 3月31日（土）午後2時から日高町志賀即生寺で開催。組会議員により29年度事業報告、決算報告、30年度事業計画、予算案等の審議が行なわれます。また当日は教区教務所長と参考事が訪問し、教区費の値上げなどについての説明がなされる予定です。

◎教区仏教壮大年会連盟結成40周年記念行事 和歌山教区仏教連盟が今年で40周年を迎え、6月2日（土）本願寺鷺森別院にて記念行事が開催されます。お誘い合わせご参加いただきますようお願いします。

※はじめまして、色々なお話を「ひかり」から教えていただいています。これからもよろしくお願ひします。  
※生かされている不思議、感謝です  
※昨年は自然災害で被害にあつた方が多くおられます。新しい年は平和な暮らしができますよう念じます。  
今年もよろしくお願ひします。  
※いつもお世話になっています。法悦クイズに挑戦します

## ご家庭で実践しよう

# 食事のことば

食後のことば 合掌

食前のことば 合掌

●多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。

（同音）深くご恩を喜び、ありがとうございます。



「食事」をいただく時に、わたしたちは何を思い、どのような思いをいただいているのでしょうか。

「食」それは「多くのいのち」をいただいている。  
「食」そこには「みなさまのおかげ」がありました。  
「食」仏さまの『ご恩』を深く喜ぶことができます  
「食」「懺愧(ざんぎ)」と「歡喜(かんぎ)」の心で  
もって「仏恩報謝(ぶつんほうしゃ)」につとめてまいりましょう。

## 読者の声

### ☆褒賞

このたび住職在職30年表彰に、日高町比井の一行寺丸山妙子師が受賞されました。益々ご活躍いただきますよう念じ上げます。

第2期（一〇一五年～一〇一七年度）実践運動  
重点プロジェクトの総括、並びに第3期（一〇一八年度～二〇一九年度）実践運動重点プロジェクト策定、各部会の事業経過報告と決算報告並びに事業予定、予算案等について協議。  
また、第3期実践運動推進委員会委員の改選（任期2年）も行われます。